

令和4年度 濑谷中央公園こどもログハウス事業計画書

1 こどもログハウスの管理運営方針

こどもログハウスは、子どもたちが身近なところで木のぬくもりを感じ、自由に集い遊ぶことができ、子ども同志の心のふれあいや創造力、表現力の向上を図る場として設置された施設です。

施設運営を行うため、次の10の基本方針を定めます。

1 地域との協働	6 利用やサービス提供時の公平公正な対応の順守
2 施設と遊具の点検で安全・安心の確保	7 ニーズをとらえた自主事業の企画と実施
3 施設の維持管理に必要な修繕の対応	8 個人情報保護の取扱いの厳守
4 事故、災害等緊急時の対応方法の確立	9 適切な情報公開及び積極的な広報
5 衛生的な環境の維持管理	10 市の施策への協力（ルート回収など）

2 地域ニーズ、利用者ニーズを踏まえた管理運営

地元の地域関係団体で構成される運営委員会や区内の子育て支援関係団体と連携し、情報共有を図り、地域ニーズを把握します。また、利用者やその保護者を対象にアンケートを実施します。把握したニーズは、実施計画や事業企画に反映します。また、「ご意見ダイヤル」や「苦情解決の仕組手順」を明示し、利用者からのご意見や苦情の把握に努めます。

3 施設の安全性、安定的な維持管理

「日常点検チェックシート」によるチェックを毎日実施し、早期の対応で安全で快適な施設の維持、管理に努めます。遊具、照明、水回りなどの重点項目は不具合箇所の早期発見に努め、必要な修繕を遅滞なく実行します。大規模な不具合箇所が発生した場合は、区、土木事務所等と調整し、利用者に危害が及ばないよう措置します。

4 事故防止・緊急時対応

常時2名のスタッフを配置し、日常の注意や声かけとともに、1時間ごとに巡回を行います。けが、病気発症時は、応急措置を講じ、保護者へ連絡し、帰宅を指導します。事故発生状況を区に報告し、主任会議やスタッフ会議等で再発防止策を検討し、実施します。地震や火災発生を想定した避難訓練を年1回実施します。事故が発生した場合に備え、施設賠償責任保険に加入します。

5 自主事業計画

近隣小学生たちの放課後、休日の遊び場として、参加費は原則無料とします。

子どもの興味や関心を喚起する魅力ある事業として、①季節の行事や②創作意欲支援事業を展開します。③参加型イベントは、屋内外で非日常の遊び体験や親子で一緒に楽しめる事業を休日に開催します。平日午前中利用の親子向けに、④子育てパパママ応援事業を展開します。⑤環境美化事業として、花壇の植栽管理を行い、快適で季節感のある館内装飾を提供します。

6 施設の利用促進及び関係機関・地域との連携の取組

こどもログハウスのPRやイベント情報を幅広く周知するために、SNS（ツイッター）やホームページ、地域情報サイトを活用します。子育て中の保護者と未就学児を対象としたイベントのお知らせメール（メルマガ）の配信を行います。広報紙「まるたのしろ」を年3回発行します。

南台子どものもりプレイパークと共に開催したイベント開催や瀬谷区子育て応援ネットへの参加など、子育て世代への情報の拡充を図ります。

7 新型コロナウイルス等感染症対策

- ① 利用時間を3区分とし入替制を実施。1回あたりの利用人数も適正な人数に制限します。
- ② 入替時間中は館内換気、壁、手すり、床等の清拭消毒、トイレの徹底した消毒を行います。
- ③ 入館時の手洗いの励行と手指消毒の徹底、検温を実施し、利用者の健康状態を確認します。
- ④ 受付、本のある部屋、洗面台に消毒液を設置、貸出遊具は使用後に消毒します。
- ⑤ 神奈川県「LINE コロナお知らせシステム」に登録し、利用者に登録の声かけを行います。
- ⑥ 掲示板、ホームページなどで上記の利用ルールの周知、徹底を図ります。

令和4年度 瀬谷中央公園こどもログハウス 自主事業計画(案)

令和4年度 「瀬谷中央公園こどもログハウス」 収支予算書兼決算書
(令和4.4.1～令和5.3.31)

(税込、単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	8,639,000		8,639,000		8,639,000	横浜市より
利用料金収入	0		0		0	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	0		0		0	
自主事業収入	0		0		0	
雑入	248,000	0	248,000	0	248,000	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	248,000		248,000		248,000	
駐車場利用料収入	0		0		0	
その他	0		0		0	
収入合計	8,887,000	0	8,887,000	0	8,887,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	7,092,000	0	7,092,000	0	7,092,000	
給与・賃金	7,055,000		7,055,000		7,055,000	館長・副館長及び時給職
社会保険料	21,000		21,000		21,000	
通勤手当	0		0		0	
健康診断費及びインフルエンザ 予防接種補助	16,000		16,000		16,000	時給職員
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
中小企業退職金共済掛金	0		0		0	
事務費	361,000	0	361,000	0	361,000	
旅費	3,000		3,000		3,000	出張旅費
消耗品費	196,000		196,000		196,000	事務消耗品費
会議賄い費及び諸費	2,000		2,000		2,000	
印刷製本費	0		0		0	
通信費	95,000		95,000		95,000	電話代・郵送料等
使用料及び賃借料	9,000	0	9,000	0	9,000	
横浜市への支払分	9,000		9,000		9,000	目的外使用料等(44,640/5年)
その他	0		0		0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	41,000		41,000		41,000	
職員等研修費	5,000		5,000		5,000	
振込手数料	2,000		2,000		2,000	
リース料	8,000		8,000		8,000	
手数料	0		0		0	
地域協力費	0		0		0	地域イベントの協力費等
事業費	100,000	0	100,000	0	100,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	100,000		100,000		100,000	
自主事業費	0		0		0	イベントの実施
管理費	591,000	0	591,000	0	591,000	
光熱水費	23,000	0	23,000	0	23,000	
電気料金	23,000		23,000		23,000	
ガス料金	0		0		0	
水道料金	0		0		0	
清掃費	187,000		187,000		187,000	日常・定期清掃費
修繕費	0		0		0	
機械警備費	218,000		218,000		218,000	
設備保全費	163,000	0	163,000	0	163,000	
空調衛生設備保守	0		0		0	
消防設備保守	0		0		0	
電気設備保守	0		0		0	
害虫駆除清掃保守	0		0		0	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	163,000		163,000		163,000	ウォーターカー点検、ルート回収
共益費	0		0		0	
公租公課	643,000	0	643,000	0	643,000	
事業所税			0		0	
消費税	643,000		643,000		643,000	
印紙税	0		0		0	
その他（　　）	0		0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	100,000	0	100,000	0	100,000	
本部分	100,000		100,000		100,000	労務・経理等の本部事務経費
当該施設分	0		0		0	
ニーズ対応費	0		0	0	0	
支出合計	8,887,000	0	8,887,000	0	8,887,000	
差引	0	0	0	0	0	
自主事業費収入			0		0	
自主事業費支出			0		0	
自主事業費収支			0		0	
管理許可・目的外使用許可収入			0		0	
管理許可・目的外使用許可支出			0		0	
管理許可・目的外使用許可収支			0		0	